







































































































ミナ グレック フフ フォー ジョー
金城大樋川

水指定史跡

指定1977(昭和52)年4月8日

金城大樋川は金城村の共同井戸で、急ながけの下から2つのかけ樋で地下水を導き出しています。その前には、約10㎡ほど石積みを施し、半月型の貯水池を設けています。さらにその前には、石敷きの広場がつくられ、南側には排水溝があります。樋川の周囲の三方は、土留めの石積みがなされ、特に背後は4段にわけてがっちりと積まれています。

東側の集会所のところは、かつてフージャーモーと呼ばれた広場で、坂道を上下する人馬が樋川の水で喉を潤し、一息入れた場所でした。また、広場から石畳道をはさんだ東側は、薩摩に学び沖國で最初に和紙をすいた大見武蔵屋之親忠上の屋敷跡で、17世紀の末ごろこの樋川の水で和紙がつけられたようです。

那覇市教育委員会







仲之川

昭和二十七年六月十一日
川島町立文化財
文財

仲之川は東に宮城大橋川、西に寒水川、南に宮城川が流れて、その中間にあるのでこの名がつけられました。この川は水質、水量ともにすぐれ、ひでりにも水がかわらず、雨天にも濁らず、付随住民の用水だけでなく、王府時代はひでりなどのとき宮城川の御用水になっていました。

一八六三年六月の大津波のさいにこわれたので、宮城大橋川と寒水川、新橋川と宮城川とを併せて、十五人が四方宮文を興出し王府に頼いで修復しました。このことで、これらの宮城にはそれぞれ復元されました。

この由来を別入口の石碑は、沖橋殿で修復されましたが、その石碑の二が本方教育委員会に保存されています。

川島町立文化財委員会





























































